

がん検診無料クーポン券を配布

がんは40歳以上で増加し、およそ2人に1人がかかる病気です。子宮頸がんは、20〜30歳代の若い女性がかかりやすい病気です。がんの予防のためには、喫煙や過剰飲酒、食事および運動等の生活習慣を改善するとともに、定期的ながん検診を受けて早期発見・早期治療につなげることが、大変重要です。

加西市では、多くの方になんか診を受診していただけるよう4月にがん検診無料クーポン券を左記の対象者に郵送します。無料になるこの機会に検診を受け、自分自身の健康管理に努めましょう。

※クーポン券が使用できる検診は、市指定の検診です。詳しくは、「健幸ガイドブック」や、クーポン券に同封されている案内文書をご確認ください。

問合せ 健康課 ☎8723

●各がん検診が無料になる方

無料となるがん検診	年度末年齢	対象者
肺がん 胃がん 大腸がん 子宮頸がん 乳がん	41歳	S58.4.2生～S59.4.1生の方

●乳がん検診が無料になる方

年度末年齢	対象者
46歳	S53.4.2生～S54.4.1生の方
51歳	S48.4.2生～S49.4.1生の方
56歳	S43.4.2生～S44.4.1生の方
61歳	S38.4.2生～S39.4.1生の方

●子宮頸がん検診が無料になる方

年度末年齢	対象者
21歳	H15.4.2～H16.4.1生の方
26歳	H10.4.2～H11.4.1生の方
31歳	H5.4.2～H6.4.1生の方
36歳	S63.4.2～H1.4.1生の方

対象年齢が変わります 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種

令和6年度から、高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種の対象年齢が変更になります。対象の方には接種券を郵送しますのでご確認ください（誕生日の翌月）。

対象者 65歳の方

その他の対象要件についてはホームページをご確認ください。

※すでに肺炎球菌ワクチン(23価)を接種されている方は、定期接種の対象となりません。

接種期間 65歳の誕生日から66歳になる日の前日まで

接種料金 4200円（1回限り助成）

接種方法 事前に協力医療機関へ予約し、接種券をお持ちの上、接種を受けてください。

※肺炎球菌ワクチンの接種日と新型コロナウイルスワクチンの接種

日は2週間以上の間隔をあける必要があります。予約の際にはご注意ください。

接種費用免除対象者 生活保護世帯の方※接種前に本人確認書類（運転免許証等）をお持ちいただき、健康課で申請してください。

実施医療機関 送付する接種券の裏面または市ホームページをご確認ください。市外で接種する場合は、事前にお問い合わせください。

必要なもの 高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種券（紛失された方は健康課で再発行の手続きをしてください）、健康保険証等、接種対象者であることが証明できるもの

問合せ 健康課 ☎8723



詳細はこちら

医療用ウィッグや乳房補正具一部助成

がん治療に伴う外見の悩みを抱えるがん患者の方に対し、経済的・精神的負担の軽減を図るため、医療用ウィッグや乳房補正具の購入費用の一部を助成します。

対象者等につきましては、市ホームページをご確認いただくか、お問合せください。

問合せ 健康課 ☎8723



詳細はこちら

風しんの抗体検査・予防接種

令和6年度は、風しんの追加的対策（成人風しん対策事業）延長期間の最終年度です。左記の対象者のうち、抗体検査がまだお済みでない方、抗体検査の結果が陰性で予防接種がまだお済みでない方に対して、4月下旬に成人風しん対策事業（抗体検査・予防接種）の無料クーポン券を送付します。

対象者 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で市民の方

有効期限 抗体検査「令和7年2月28日まで」、予防接種「令和7年3月31日まで」

※令和6年4月以降に加西市へ転入された方は健康課でクーポン券の発行手続きをお願いします。

個人負担金 無料

抗体検査から予防接種までの流れ

①実施医療機関等に抗体検査の予約②クーポン券を持参し、抗体検査を受ける↓抗体なし（陰性）の場合、風しんの抵抗力をつけるため予防接種を受けましょう。

医療機関等 市内実施医療機関で抗体検査および予防接種が受けられます。また、町ぐるみ健診では抗体検査が実施できます。職場健診等で実施される場合もありますので、職場にお問い合わせください。

その他の実施医療機関等は厚生労働省ホームページでご確認ください。

問合せ 健康課 ☎8723



医療機関等詳細はこちら

産後ケアお試し券をプレゼント

令和6年4月以降に産まれた産婦さんに「産後ケアお試し券」をプレゼントします。

病院や助産院で一日ゆっくり休憩か、助産師さんに家に来てもらう育児のお手伝いをしてもらうか、どちらか1回利用できます。育児・家事の合間にホッと一息つきましょう。新生児訪問時にお渡ししますので、有効期限内（産後4カ月まで）にご利用ください。

問合せ 健康課 ☎8723

対象者・回数が変わります おたふくかぜ 任意予防接種助成

令和6年度から助成対象者・回数を変更しています。対象者には助成券を自宅へ送付します。

対象者 接種当日に次の条件に当てはまる方①加西市に住居登録のある方②1歳～2歳未満（1歳の誕生日～2歳の誕生日前日まで）または平成30年4月2日～令和元年4月1日生まれ（年長児）

※麻しん風しん混合ワクチンと同じ対象です。

※対象者には助成券を1歳の誕生月の翌月と年長児には令和6年度の初め（4月以降）に送付します。

助成額・回数 接種費用の1/2（上限3000円）・2回（それぞれの時期に1回）

接種方法 ①事前に市内実施医療機関にお問い合わせ、接種日等を決めてください。（市内医療機関以外で接種される場合は、事前に健康課までお問い合わせください）②接種日当日は、母子健康手帳、保険証、助成券、接種費用を持参してください。

※助成券を紛失された場合は健康課窓口で再発行の手続きをしてください。

※おたふくかぜにかかったことがある方は、かかりつけ医（接種医）と相談の上、接種をご検討ください。

問合せ 健康課 ☎8723

骨髄等の提供者に対する助成開始

4月より、骨髄等の移植および提供希望者の登録の推進を目的として加西市骨髄等移植ドナー支援事業を開始します。

助成額は、骨髄等の提供に係る通院または入院の日数×2万円（1回の骨髄等の提供につき20万円を上限とする）です。

助成対象者や申請方法等の詳細は、ホームページをご確認ください。

問合せ 健康課 ☎8723



詳細はこちら

広告

広告

広告

広告